

大学図書館員による フリー・ペーパーの発行

これからのパブリック・サービスを求めて

2014 - 2015年度 パブリック・サービス研究分科会

太田潤 (明星大学図書館)

佐藤威洋 (獨協大学図書館)

長谷川千枝 (中央大学図書館)

古庄もも (国立音楽大学附属図書館)

山之内義治 (芝浦工業大学豊洲図書館)

山本美智恵 (日本体育大学図書館)

報告内容

- 分科会の活動概要
- フリーペーパー作成の背景
- 課題
- フリーペーパーの紹介
- 来期のメンバー募集
- ご協力をお願い

パブリック・サービス研究分科会 活動概要

研究対象

パブリック・サービス＝利用者サービス

例)

- 閲覧・貸出
- レファレンス
- 集会や施設提供



参考： 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会. 図書館情報学用語集. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p.

パブリック・サービス研究分科会
活動概要

活動の目的

大学図書館員の

- ①知識
- ②技術
- ③感性



designed by Freepik

向上

パブリック・サービス研究分科会
活動概要

活動方法

月例会 10回／年

EX)

講演

研究・課題発表

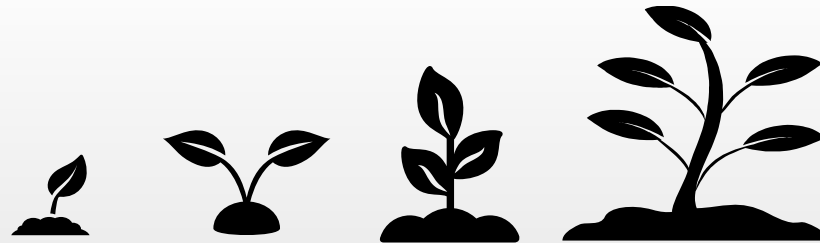
図書館見学

夏期研究合宿

パブリック・サービス研究分科会
活動概要

会員

大学図書館での職務経験



designed by Freepik

新人 ～ 10年程度

パブリック・サービス研究分科会
活動概要

テーマ

自由に設定

- ・大学図書館界のトピック
- ・会員の関心事

2014-15年度の活動

大学図書館発 フリー・ペーパーの作成

P.S.
Enjoy Library!

Take Free 

contents

インタビュー：朝井リョウさんに聞く「就活」と「読書」
特集：図書館学生サポーター BIVS 座談会@獨協大学
本棚解体新書：東京堂書店

パブリック・サービス研究分科会

フリーペーパー作成の背景

大学図書館の変化

- ①大学そのもの
- ②大学図書館員

大学図書館の変化

①大学そのもの

- 学習モデル
- 図書館の設備

②大学図書館員

- 専任職員の数
- 業務委託

①大学の变化 — 学習モデル

- アクティブラーニング
- 主体的な学び

図書館が関与することが期待されている。

①大学の変化 — 学習モデル

国の政策

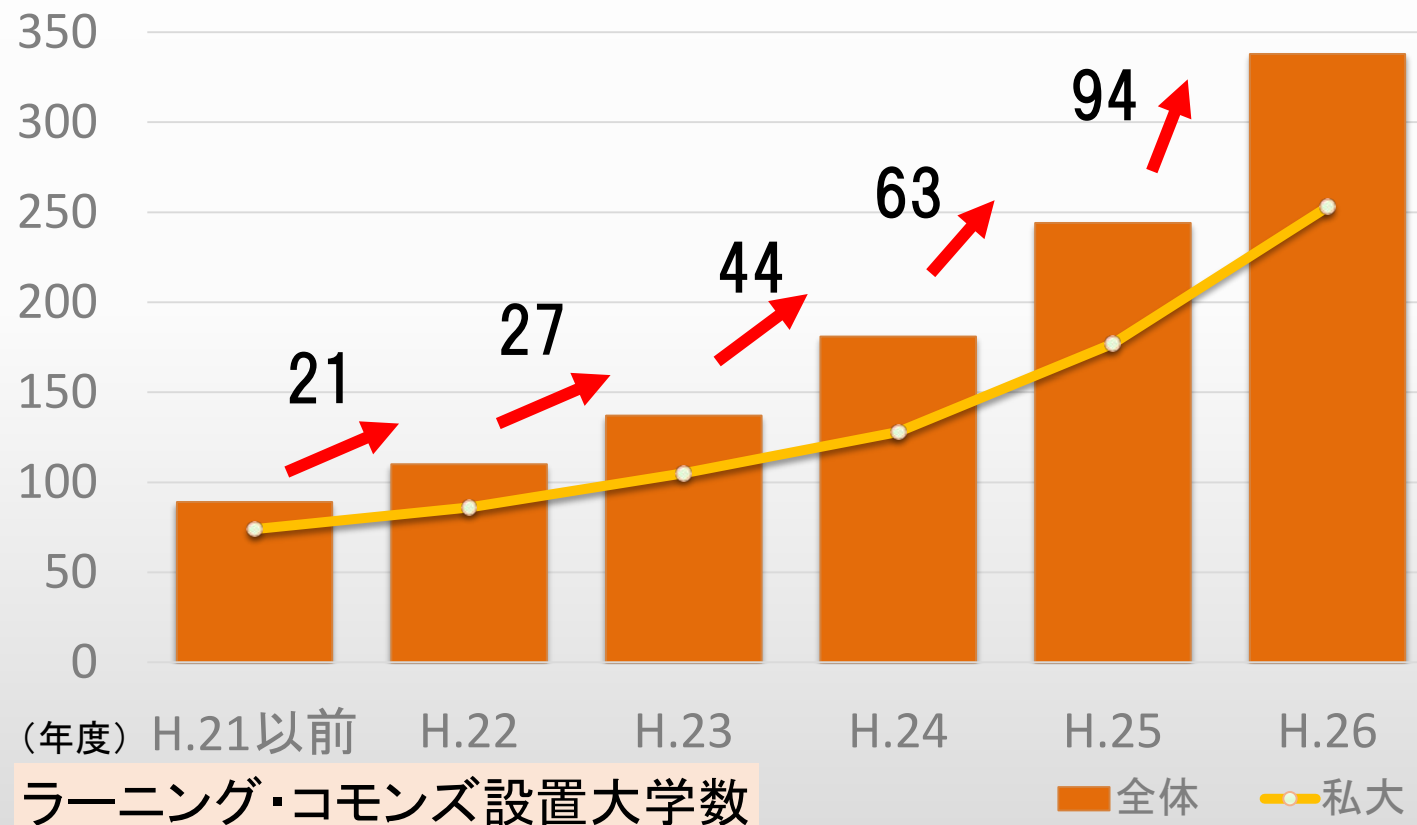
■ 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～
(答申) 平成24年8月中央教育審議会

■ 学修環境充実のための学術情報基盤の整備について
(審議まとめ) 平成25年8月科学技術・学術審議会学術分科会
学術情報委員会

①大学の変化 ー図書館での現われ

ラーニング・commonsの増加

(単位:大学)



ラーニング・commons設置大学数

全体 私大

文部科学省『平成26年度学術情報基盤実態調査』より作成

①大学の変化 ー図書館での現われ

多様なサービスの開発

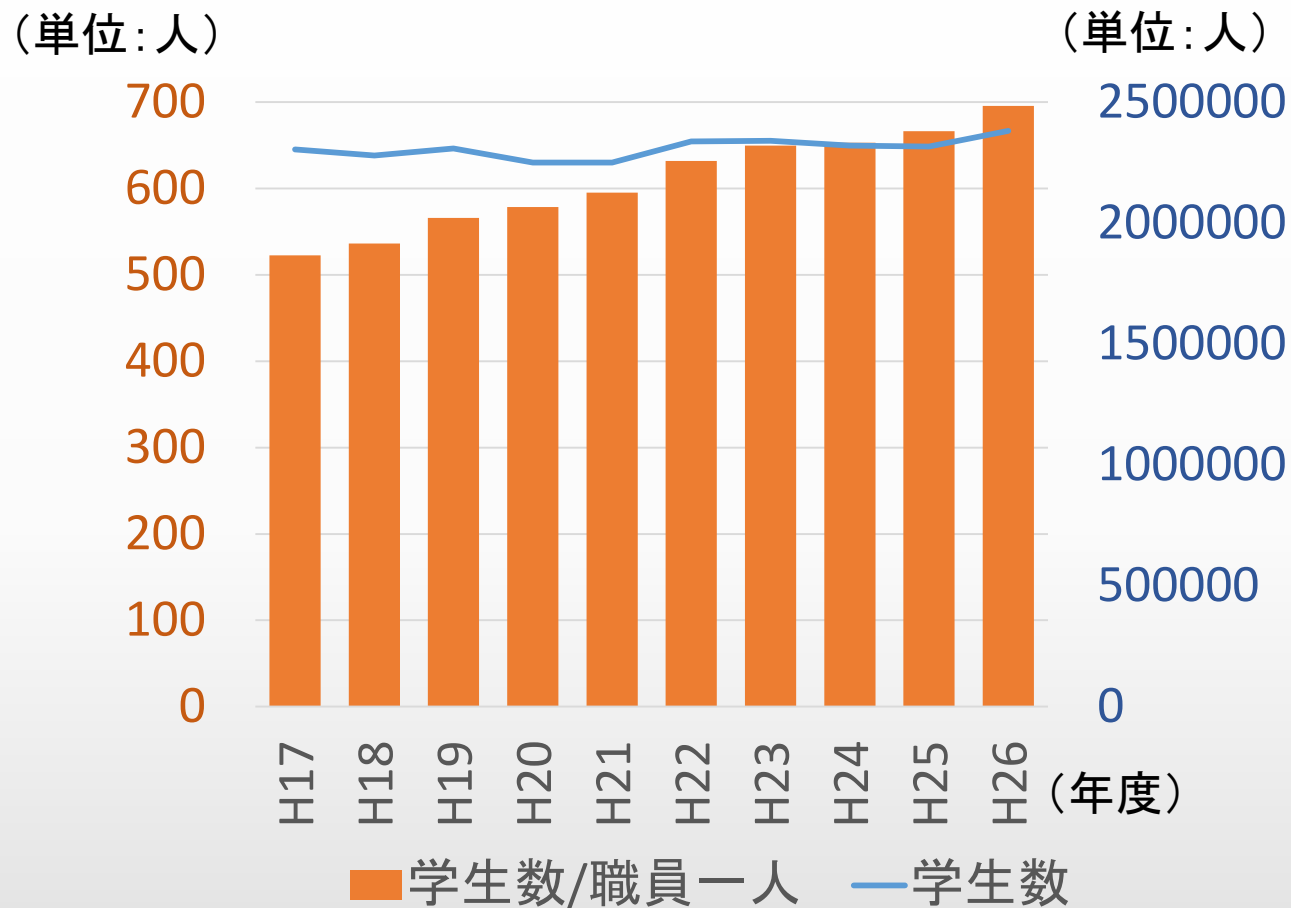
『大学図書館における先進的な取り組みの実践例』

平成23年度目次より

- ・学習支援 9件
- ・教育活動への直接関与 4件
- ・研究支援(機関リポジトリ) 5件
- ・コレクション構築とナビゲーション 7件
- ・地域社会連携・国際対応 5件
- ・組織運営体制 3件



②大学図書館員の変化 一 専任職員数(私立大学)



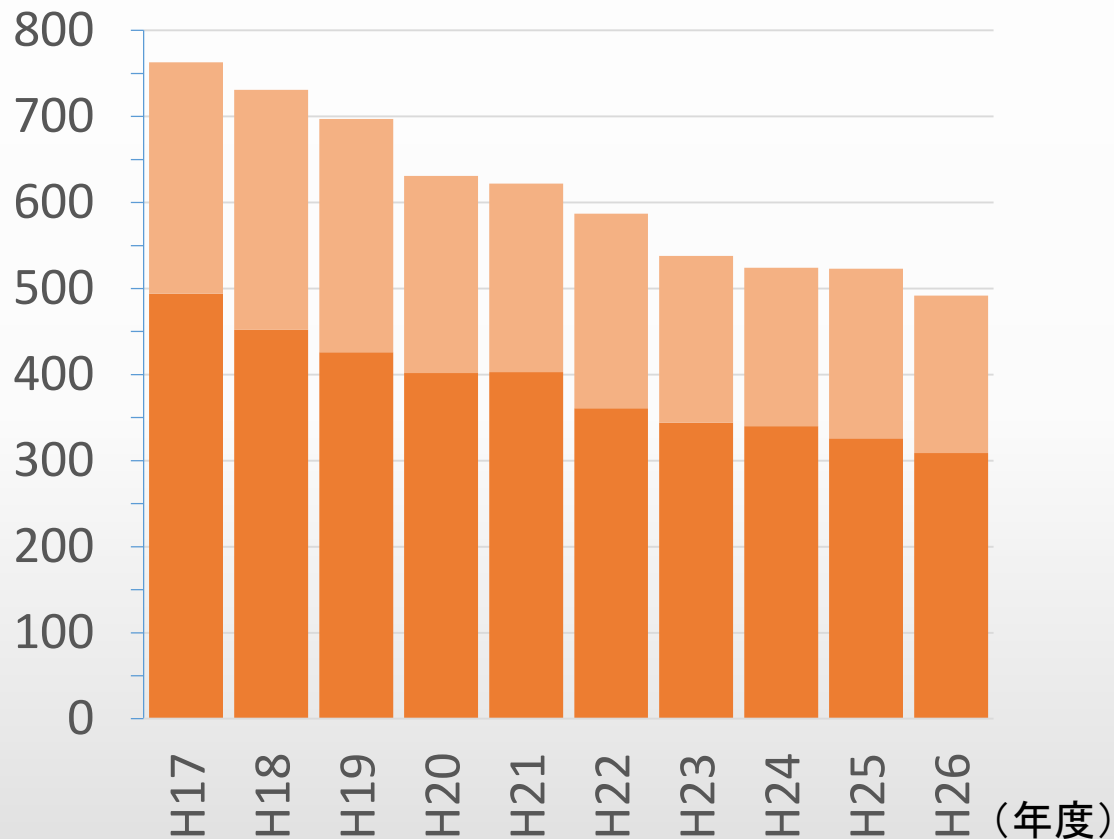
私立大学図書館における専任職員一人当たりの学生数

文部科学省『学術情報基盤実態調査』より作成

②大学図書館員の変化

一 参考・閲覧業務の職員数(私立大学)

(単位:人)



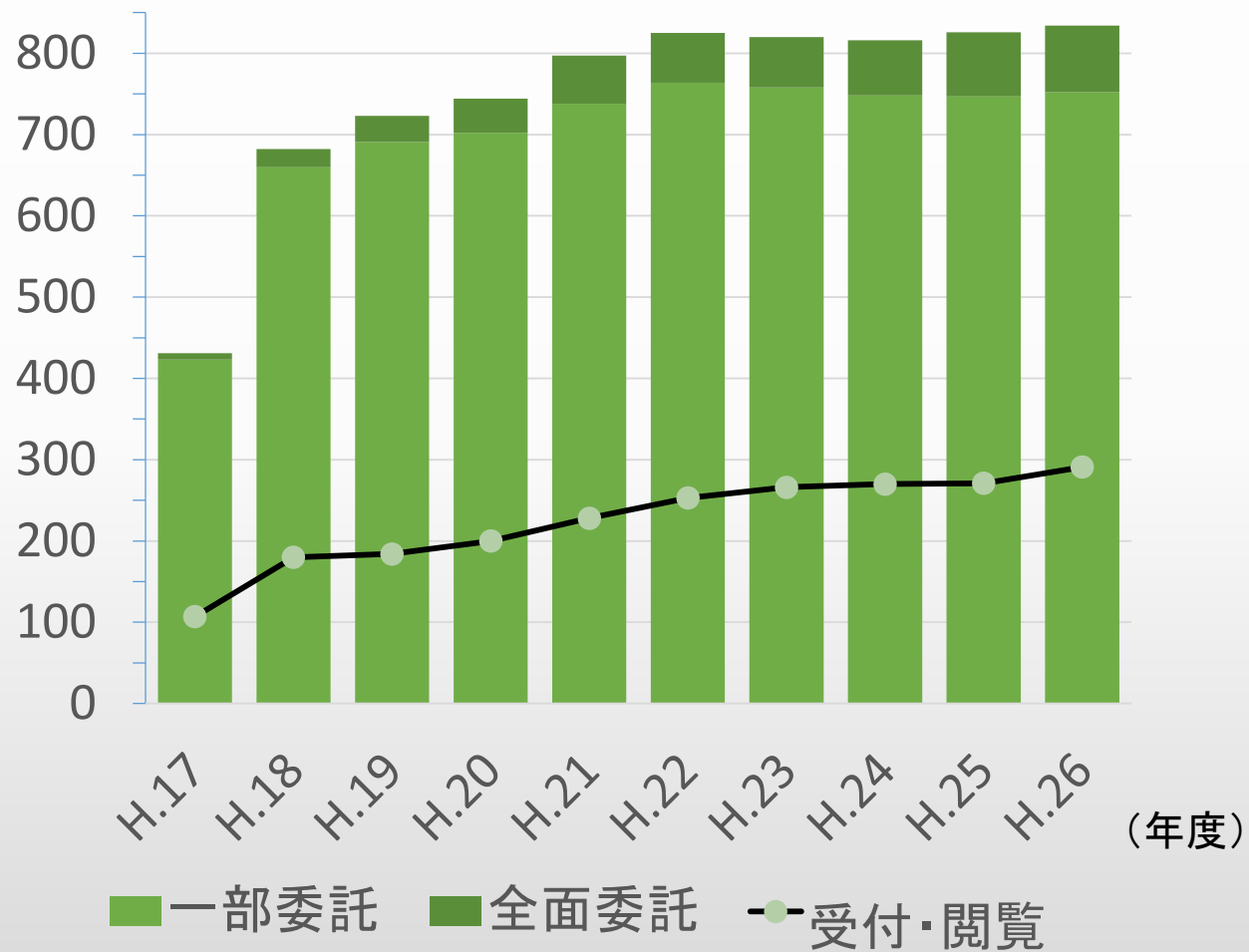
専任職員数(閲覧・参考)

■ 閲覧 ■ 参考

文部科学省『学術情報基盤実態調査』より作成

②大学図書館員の変化 ー 業務委託(私立大学)

(単位:館)



文部科学省『学術情報基盤実態調査』より作成

変化

大学

(図書館)



図書館
員

パブリック・
サービス

課題

メニューの不足

図書館

- サービス
- 設備



designed by Freepik

適応

図書館員

- 役割
- 連携



designed by Freepik



変わる大学

人材の不足(経験、権限)

課題

新しい図書館 サービスの模索



designed by Freepik

大学の教育モデルへの対応

- 電子化
- ラーニング・コモンズ
- 学習支援

学生との関わり方？

若手の力をどう 活かす？



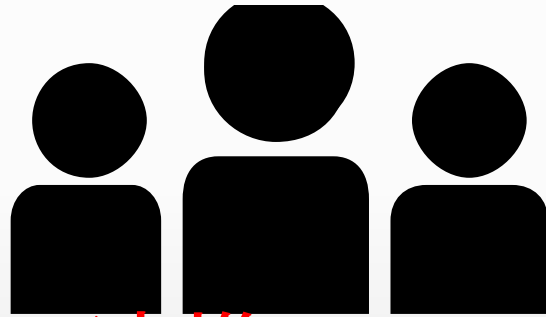
designed by Freepik

職員構造の変化

- マネジメント中心
- 新サービスの企画・立案
- 他部署との連携

課題

What can we do



教員や他部署との連携

読書推進

先進的な事例の調査

designed by Freepik

専門的ライブラリアン論

学生の図書館ボランティア

地域開放



designed by Freepik

基本 図書館員の役割



Librarianship



designed by Freepik

フリーペーパー

目的

サービスの創出

学生とのコミュニケーション

学内でのリレーションシップ構築

若手のアイデア活用

フリーペーパーの利点

①大学の枠をこえた情報提供

館報と一線を画す

②何でもできる

どんなテーマ、内容も盛り込める

③誰でも誰とでもできる

若手もベテランも、学生とでも教員とでも

2014-15年度パブリック・サービス研究分科会

P.S. Enjoy Library!

P.S.
Enjoy Library!

Take Free

contents

インタビュー：朝井リョウさんに聞く「就活」と「読書」
特集：図書館学生サポーター BIVS 座談会@獨協大学
本棚解体新書：東京堂書店

パブリック・サービス研究分科会

『P.S.』の想定読者

学生(学部)

図書館の魅力、
読書の楽しさ



designed by Freepik

『P.S.』の編集方針

- 図書館を学生の身近に
- 図書館に来ない学生も楽しめる内容
- 利用教育を楽しく

『P.S. enjoy library!』の紹介

主なコンテンツ

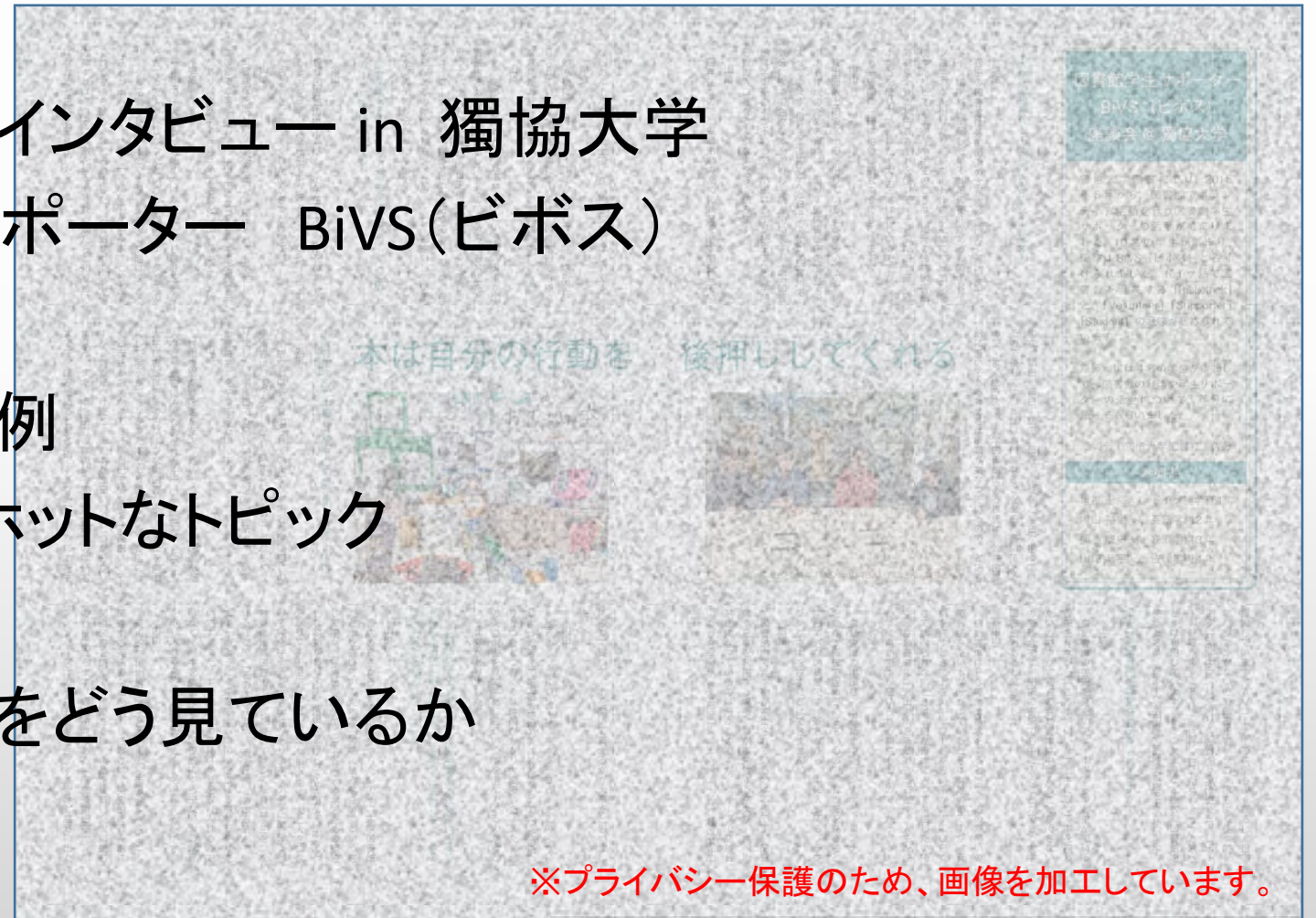
1. 図書館学生サポーターBiVS
2. みんなの学生時代
3. 朝井リョウ氏インタビュー
4. 本棚解体新書
5. いま何読んでる
6. この本の影響で〇〇しました

図書館学生サポーターBiVS座談会 (p.6-8)

○座談会形式のインタビュー in 獨協大学
図書館学生サポーター BiVS(ビボス)

○学生協働の事例
大学図書館でホットなトピック

○学生が図書館をどう見ているか



※プライバシー保護のため、画像を加工しています。

みんなの学生時代 (p.10 -11)

○ボードインタビュー

○学生を知る

○教職員の素顔

他の学生の事を知って刺激に



※プライバシー保護のため、画像を加工しています。

作家インタビュー (p.12-15)

○『何者』の作者、朝井リョウさんへインタビュー

○就職は大学、学生にとって大きな問題
図書館も無縁ではない

○ネームバリュー

※プライバシー保護のため、画像を加工しています。

本棚解体新書 (p.16-18)

○書店のディスプレイを取材

○ブックフェアなどの参考

○本の世界に学生を誘う

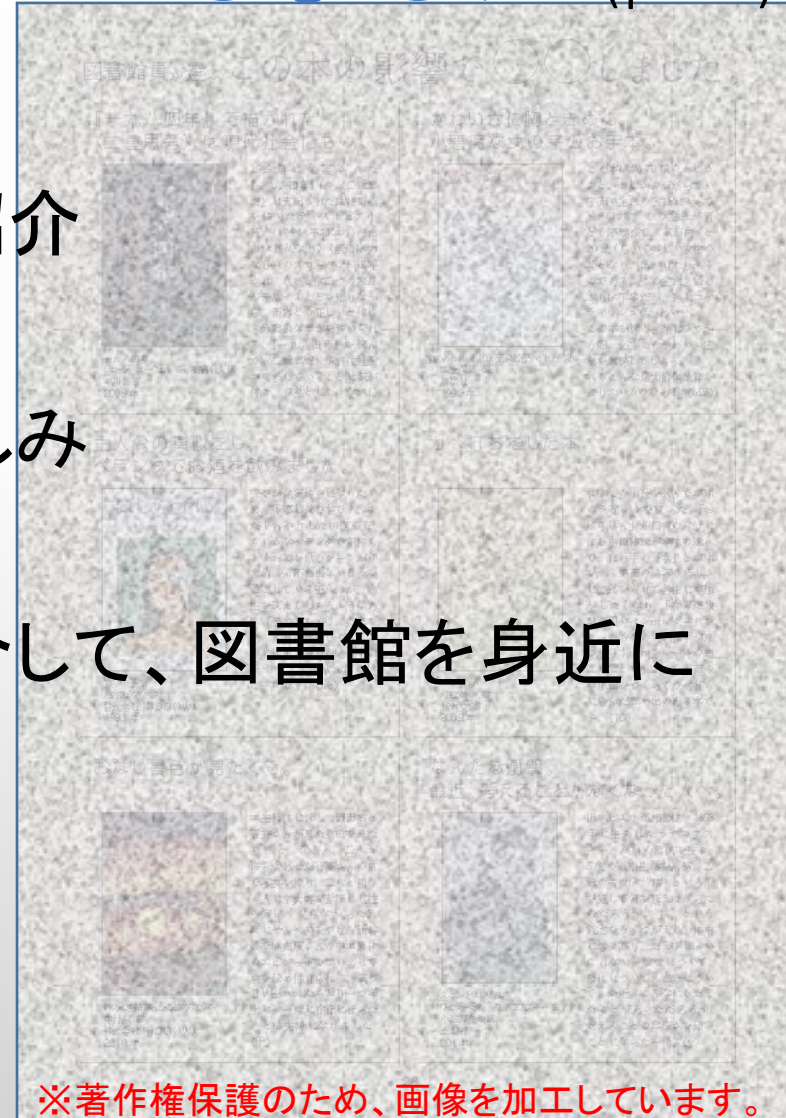
※プライバシー保護のため、画像を加工しています。

この本の影響で〇〇しました (p.23)

〇図書館職員による本の紹介

〇学生の図書資料への親しみ

〇職員の私的な一面を紹介して、図書館を身近に



図書館総合展で配布

- 図書館総合展で発表
(ポスターセッション)
1,013部配布

その他、たくさんのご用命
をいただきました！

- ・全国の大学
- ・高校の図書室
- ・公共図書館 etc...

そうだ、図書館にいこう!

P.S. Enjoy Library!

図書館に行きたくなるフリーペーパー

私立大学図書館協会 パブリック・サービス研究分科会



Contents (本誌原簿)

- ・大学図書館の楽しみ方
キュートなイラストで図書館の楽しみ方を紹介。
- ・学生ボランティア座談会@獨協大学
獨協大学の図書館ボランティア BVS の皆さんからみた大学図書館。
- ・みんなの学生時代 (ボードインタビュー)
現役学生のみならず学生時代にチャレンジしたいこと、元学生のみならず学生時代にチャレンジしたかったことや、一枚のボードで表現。
- ・朝井リョウさんに聞く「就活」、「読書」
銀河中の学生を拝いた小説【何者】で直木賞を受賞した作家の朝井リョウさんに独占インタビュー。
- ・本題解体新書 in 東京堂書店
「読書人のための書店」をコンセプトに本の街神保町で人気の書店、東京堂書店さんに聞く本題の秘密。
- ・いまなに読んでる？
学生・院生のみならずのリアルな読書生活を紹介。

ほか多数

2014-2015年度パブリック・サービス研究分科会の活動テーマ
「場・人・資料を結ぶコーディネーターとしての図書館員」

当分科会では、パブリック・サービスとは「場・人・資料を結ぶこと」であると考え、「図書館に行きたくなるフリーペーパー」をコンセプトに本誌を作成しました。

大学図書館をとりまく状況	求められるもの	フリーペーパー制作の意図
① 情報環境の変化 ・インターネット ・SNS 図書館で資料を探す必要性を感じにくくなっている？	① 学生と図書館資料を結びつけるための図書館からの働きかけ。 ③ 学生のニーズを満たす情報提供 ・ ・ ・ブックフェアや展示の企画、SNS での発信機能など、各大学で様々な工夫がなされている。	・大学の特色をこえて図書館の魅力アピール ・図書館に足を運んでもらうための利用者への働きかけ
② 役割の変化 ・学生支援 ・ラーニングコモンズ ・業務の委託化 伝統的な図書館の仕事だけでは対応が困難。		フリーペーパーだからできること ・個々の大学の特色を超えた情報提供 ・学生が親しみをもてる多様なコンテンツの提供

↓

図書館の魅力を再発見

パブリック・サービス研究分科会とは
私たちが私立大学図書館協会東地区図書館研究部パブリック・サービス研究分科会は、主に大学図書館職経験1年目から10年目の職員を対象に、利用者サービス(パブリック・サービス)に反映するよう図書館員の育成、養成、図書館全体の知識・技能・感性の取得を目的として活動を行っています。

分科会の活動をとおして

パブリック・サービスとは



designed by Freepik

学生へのギフトを創り、贈ること。

来期のメンバー募集

2016年度からの新メンバーを募集します。

自由な発想でこれからのパブリック・サービスを作りましょう！！

ホームページ

パブリックサービス研究分科会

検索

* 私立大学図書館協会 > 東地区部会 > 研究分科会 > パブリック・サービス研究分科会

大学図書館員による フリー・ペーパーの発行

これからのパブリック・サービスを求めて

ご清聴ありがとうございました